

平成25事業年度
(第 10 期)

決算報告書

国立大学法人
長岡技術科学大学

平成25年度 決算報告書

国立大学法人 長岡技術科学大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,816	3,843	27	(注1)
うち補正予算による追加	—	27	27	
施設整備費補助金	1,946	1,131	△815	(注2)
うち補正予算による追加	—	—	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	1,257	1,262	5	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	33	33	—	
自己収入	1,541	1,583	42	
授業料、入学金及び検定料収入	1,342	1,354	12	(注4)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	199	229	30	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	763	808	45	(注6)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	101	158	57	(注7)
計	9,457	8,819	△638	
支出				
業務費	5,458	5,359	△99	
教育研究経費	5,458	5,359	△99	(注8)
うち設備災害復旧事業	—	—	—	
うち復興関連事業	—	—	—	
診療経費	—	—	—	
うち設備災害復旧事業	—	—	—	
施設整備費	1,979	1,164	△815	(注9)
うち施設整備事業	—	—	—	
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	1,257	1,262	5	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	763	888	125	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	9,457	8,673	△784	
収入-支出	—	145	145	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、補正予算による追加交付額27百万円の増となっています。

(注2) 施設整備費補助金については、老朽対策等整備事業の次年度への繰越583百万円、機械建

設1号棟改修工事費において経費節減に努めたことにより33百万円の減、大学教育研究特別整備費の次年度への繰越198百万円となっています。

- (注3) 補助金収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金収入の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が5百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料等の徴収者数が予定より増えたため、予算金額に比して決算金額が12百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として科研費等間接経費、寄宿料収入等の収入増により、予算金額に比して決算金額が30百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が45百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、申請を行った平成24年度剰余金における目的積立金が承認されたため、予算金額に比して決算金額が57百万円多額となっています。
- (注8) 教育研究経費については、経費の節減に努めたこと、また目的積立金取崩における次年度以降の計画額59百万円の支出減等により、予算金額に比して決算金額が99百万円少額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が815百万円少額となっています。
- (注10) (注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が5百万円多額となっています。
- (注11) (注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が125百万円多額となっています。